

技術漫談

命の妙薬
ブルドーザー

植村玄一路

“儲けにはかたはらない”とは商人の認めるところであらう。だが技術者と稱するグループには、金は儲けたいが性格的に儲けの出来ない人が多い。こんな人には安心して且つ技術的良心に何等恥づることなしにできる金儲けの方法がころがらつてゐる。而かも1年に200萬圓は間違なく儲かると云ふのだから大したものであらう、これから此の方法を無料で御教へすることにしよう。

それはアメリカからブルドーザーを買ふことである。ブルドーザー1台を100萬圓で買へば1年に200萬圓の利益を上げることが出来る上に、5年間も使へ1,000萬圓は儲けることが出来る。と云ふのだから、そこらへんの商人等は問題にならなくなる。

さて、むづかしい計算は省略して、ブルドーザーは土運距離30-50mにては1時間當り40-60m³の普通土砂の削土運搬を行ふから1月8時間労働として、640-480m³の土砂の積卸をすることが出来る。

ところが人間がショベルにて土を削り、モッコ又は手掘りを用ひて30-60mの距離の土運搬を行ふとすれば、非常に儲かの量しか移動できず、殊に食糧の配給のわるい昨今では、1日8時間労働として人夫1人當り4-3m³と云ふのが一般業者の常識であらう。故にブルドーザー1台にては170-100人分の仕事をすることになる。まあ160人分とし、且つ人夫賃を100圓とすれば1日16,000圓分の仕事を行ふことになる。

ところが1台100萬圓のブルドーザーは1日8時間1年250日として普通5年は使用できるから、燃料、潤滑油、燃料、償却費、税金、税金、修理、其他一切の経費を見ても、1月4,000圓の運轉費を見れば充分である。

故に16,000-4,000=12,000圓の利益になり1年(250日)には300萬圓儲かることになる。(節約することになる)だから現金其他を差し引いても、被割のさほど優秀でない人が使用したとしても、1年に200萬圓は儲けられることが出来る。その上、この1年に200萬圓の金儲けは、商人の如くに職々として

精神を勞することもなく、ねむられぬ夜等と云ふ面倒なものも無く、至極悠々と金は儲かるし、精神を勞費せぬから長生はできるし、土のコストを1/4にし且つ1日160人分の仕事をするモンスター、ブルドーザーと云ふ面白い機械を使用し技術的精神を満足させることもできるから、ブルドーザーを買ふことは、まるで長壽延命の秘薬を買ふやうなものであり、商人等は足元にも及ばぬものであらう、さてどなたか此の生命の妙薬たるブルドーザーを購入し1,000萬圓を儲け、“ブルドーザーにはかたはらない”と商人に認めさせた人は居ないだらうか、若しこんな人が居たら、私は大いに羨望的に、其の方の物質的精神的欲望の満足、ひいては延命長壽に御加勢したいのであるけれど……

重 要 紹 介

- 奥田 康著
機械工作法
定價上下巻各80圓 荷造送料各8.20
-
- 北澤貞吉著
例題解説 水理学
定價50圓 荷造送料8.20
-
- 小林幸治著
實地活用 農業測量
定價45圓 荷造送料8.20
-
- 天野一正著
復興小住宅の設計
定價40圓 荷造送料8.20
-
- 山口裕嗣著
よく出る自動車試験問題とその解答
定價15圓 荷造送料6.50
- 發行所 理工圖書株式會社
東京都千代田區神田區龜町三ノ六